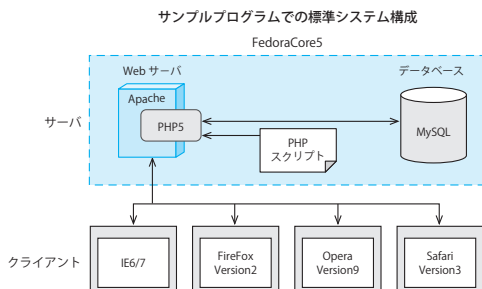


本書の使い方

システム構成

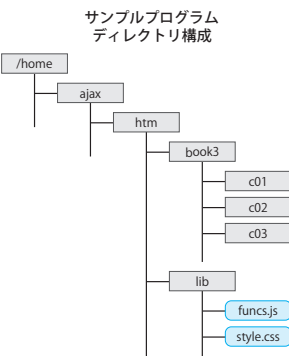
本書でのサンプルプログラムは、いわゆる LAMP 構成のプラットフォーム上で作成・テストされています。基本構成では Linux (Fedora Core 5) 上で、Web サーバでは Apache2.0、サーバスクリプトは PHP5、データベースでは MySQL 5 を使用しています。ただし Chapter5 での一部のプログラムは、Tomcat + Servlet + JavaBeans の構成になっています。

このうち、LAMP 構成で稼働のサンプルについては、プラットフォームやサーバ側言語など他の構成でも動作可能で、たとえば Windows 環境で IIS、SQL サーバなどの構成でも動作可能です。



ディレクトリ構成

ディレクトリ構成では、下図のように /home/ajax/htm の下に、サンプルプログラム用の book3 ディレクトリがあり、各 Chapter 毎に c01、c02、c03……ディレクトリの下にサンプルプログラムが置かれています。



ラッパー関数ライブラリ (funcs.js)

Ajax のプログラムでは、サーバとの通信やイベント操作用に多くの関数が使用されますが、Internet Explorer や FireFox などの主要ブラウザ間で、関数名や書式が統一されておらず、各ブラウザ毎に処理記述を変える必要が発生することも少なくありません。

このような場合、ブラウザ毎の処理の違いを記述したラッパー関数を作成しておくことがよく行われます。こうすることによって、ユーザが作成するプログラムからは、ブラ

ウザ毎の処理の違いを気にすることなく処理記述できるようになります。

本書では、このようなラッパー関数のライブラリとして `funcs.js` を使用しています (`setListener` など)。`funcs.js` は筆者が作成したライブラリで、非同期通信用の関数や、イベント処理用の関数などから構成されています。本書では `funcs.js` を使用したサンプルプログラムが数多くありますが、使用箇所が分かるように注意書きがされています。

本書のサンプルプログラムを実際に試す場合には、上記 `funcs.js` を `lib` 等のライブラリディレクトリに配置してください。本書のサンプルプログラムでは、下記のように `SCRIPT` タグで `funcs.js` が指定されていますが、`SRC` の指定は `JS` ファイルの配置場所によって違ってきますので、環境に合わせた修正をお願いします。

```
<script type="text/javascript" src="../lib/funcs.js"></script>
```

本書で使ったプログラムは、以下の本書のホームページからのリンクでダウンロードすることができます。

URL <http://gihyo.jp/book/2008/978-4-7741-3510-6>



ダウンロードしたファイル中に、使い方の解説が含まれていますので、ご覧の上、ご利用ください。

また、著者のホームページ上で、実際に動作する実例を体験することができます。

URL <http://www.at21.net/>

このホームページ中、Ajax ポケットリファレンス プログラム・サンプルのところをご覧ください。なお、ホームページは不定期にメンテナンスする場合がありますので、接続できない場合は、少し時間をおいてリトライしてみてください。

書籍の記述上の記号などについて

- 各章扉に、そこで扱われているライブラリの名前やバージョンなどが掲載されています。内部の解説は、このバージョンのライブラリによってなされていますので、バージョンが違う場合は動作などが異なることがあります。
- 本文中の節やメソッド、プロパティに、ブラウザアイコンとバージョンが書いてあります。これは筆者が動作確認したものですので、参考にしてください。環境などが違う場合には、動作が異なる場合もあり得ますので、あらかじめご承知おください。また、メソッドやプロパティの解説には目印として   のマークをつけてあります。
- 掲載してあるプログラムコードには、行番号が振ってありますが、これは解説などの目的によって付加してあるものです。実際には必要ありませんので、手入力をされる際には省いてください。
- 本書のプログラム実行にあたり、ご利用になる環境、特にブラウザの違いによって、動作にばらつきが出る可能性があります。あらかじめご了承ください。